



## 筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2014 年秋号

—OB・OG と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

## INDEX

### 1 よりみち植物図鑑

— この夏、富士山にある山小屋でのアルバイト の思い出とそこに咲くイワツメクサをご紹介します。  
次回からは本題のつくばでみつけた身近な自然を紹介します。

### 2 アートスポット巡り！ in 筑波大学

— 皆さんは筑波大学内にアートスペースがあることをご存知でしたか？  
大学内オススメアートスポット 3 か所をご紹介します。

### 3 What's 春日キャンパス

— 知っている人は知っている、知らない人は知らない春日エリアをご紹介します。  
今回は、「学生の癒しの場」をテーマにご紹介します。

### 4 ツクバネコスナップ

— 筑波に数多く生息する猫たち。わたしたちの小さな隣人の素顔に迫る！  
今回は、コンビニネコです。

### 5 『まつれつくば』

— つくばのお祭りは、『まつりつくば』のみならず !!  
「つくば市小田地区」で催行された、由緒あるお祭り『小田祇園』をご紹介します。

### 6 大気像

— 硬派なコラム。

# 1 よりみち植物図鑑



カレンダーも9月の終わりごろとなり、今年もあと残り100日をきったそうです。皆様はいかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目は体調を崩しやすいのでお体には気を付けてください。

よりみち植物図鑑では、日常生活の中で見つけた植物について書いていきます。今回は、夏休み編として夏休みの思い出とともにそのなかで見つけた植物を紹介したいと思います。

この夏、私は授業の関係で奇跡的に3か月間の夏休みを取得することができました。せっかくの人生で一番長い夏休み、普段はできないことをしたい！ そう思い、富士山にある山小屋でのアルバイトをしてきました。仕事の中で忘れられないのは個性的なお客様たちです。富士山の火口にゴルフボールを打ち込むんだ！ とゴルフクラブをザックに挿して登っていった方や”street worrier”(多分暴走族のことなのでしょう)漢字変換が「母走族」と誤変換されたTシャツを着ていた外国の方、今思い出してもふふっと笑ってしまいます。そんな山小屋アルバイトの業務の中見つけたのが、イワツメクサです。



私が見たイワツメクサは、山小屋と地面の境目や岩の間から白い花を咲かせていました。標高約2800m、酸素も薄く下界とは異なった環境です。花言葉は「初恋」、「奥ゆかしい」で、小さいながらも凜とした花を咲かせます。仕事で失敗したときや、ちょっとしたホームシックにかかった時はこれを見て自分を励ましたりもしました。気持ちがしゃんとした瞬間でした。ちなみに、富士山では多くの筑波大学の学生が働いています。私もアルバイト中にほかの売店や、なんと筑波大学卒業生の現役富士山ガイドの方に出会うことができました。自然や人、日常では見られないものが富士山にはあります。ぜひ富士山を訪れてみてはいかがでしょうか。

今回は最初から寄り道してしまいましたが次回からは本題のつぐばでみつけた身近な自然を紹介します。お楽しみ!!

(社会・国際学群国際総合学類2年 寺尾 侑子)

## 2 アートスポット巡り！ in 筑波大学

9月に入り、つくばも虫の鳴き声が蝉からコオロギに代わって涼しくなってきました。筑波大学は平成25年度から2学期制に移行したため、9月末まで夏休みとなっています。夏の休暇を利用して行った事がない場所にチャレンジする人も多いのではないのでしょうか？芸術系の学生は私も含め休日を美術館やギャラリー巡りの時間に充てる人が多いです。

皆さんは筑波大学内にアートスペースがあることをご存知でしたか？今回は「行った事がない場所にチャレンジ」というところに焦点を当てて、筑波大学内にいくつかあるアートスペースの中から、様々な企画展が行われる3つのスポットを紹介させていただきます！

1つ目は総合交流会館。ここは大学会館に併設されたスペースで、大学会館バス停の隣にあります。多目的な使用を考慮して作られた場所ではありますが、作品を展示するスペースとして使われることが多く、芸術専門学群の学生による版画展や、様々な領域の作品を一度に見れる構成展などの展示が毎年ここで開催されています。

2つ目は芸術系ギャラリー。こちらも大学西バス停を降りてすぐの場所に位置しているので気軽に行けます。このギャラリーでは授業内プロジェクトの報告展示や大学教員の展示等が開催されています。教員の作品はどれも力作揃いなので展示が行われている時は必見です！芸術学系棟の1F&2Fにギャラリーはあるのですが、建物自体も新しく素敵なデザインなので建築も楽しんでみて下さい。

3つ目はアートギャラリーT+。このスペースは体芸エリア6A棟(旧芸術専門学群棟)にあり、芸術系の学生が主体となって運営を行っています。申請して抽選が通れば誰でも作品を展示できるため、様々な学生が交代わりで作品を展示しています。現在6A棟で改修工事が行われており、おそらく約1年ほど立ち入り禁止の状態のままだと思いますが、工事が終わった際にはぜひ訪れて欲しい場所です。

以上3つのスペースが私のオススメアートスポットです。これから徐々に深まって行く季節に向けて、今年はぜひ久しぶりに訪れる筑波大学で「芸術の秋」を満喫してみてください！

(人間総合科学研究科芸術専攻博士課程前期1年 金森 陽子)

## 3 What's 春日キャンパス



学生生活には、癒しが必要である。サークルの仕事、レポートの追い込み、テスト勉強 ... ..、皆が経験したであろうあの懐かしきもある苦勞。そんな苦勞があればこそ、その中で味わう癒しは楽しみとなり得る。春日エリア、通称春日キャンパスの実態を紹介するこのコラム。第2回の今回は「学生の癒しの場」をテーマに筆を執りたい。皆様の学生時代の楽しみを思い返しながらか、ご一読頂ければ幸いである。

### ・ワイワイ楽しく、シンデレラ階段



春日キャンパスの正面入り口から入って右手を向くと、大きな階段とその下に置かれたソファが目に入る。ここが春日キャンパス最大の学生たちの癒しの場、通称「シンデレラ階段」である。ディズニーの映画、「シンデレラ」に登場する階段に似ていることから名付けられたこの階段は、多くの授業で使われる、大人数を収容できる教室に程近い。その為に空きコマや放課後など、多くの学生がこの場所を利用するのだ。ソファに座りながらただ話したり勉強したり。時には、ボードゲームを持ちこんでまでのゲーム大会が行われることもある。そんな騒がしくも楽しい学生らしい癒しは、大学生に許された最大の特権だろう。蛇足ではあるが、この階段下に近年飲料の自動販売機が設置された。嬉しい。

### ・ひっそりゆったり、マッサージチェア



シンデレラ階段が皆で楽しむための場だとすれば、こちらはお1人様専用の癒しの場である。多くの講義が行われる7A棟(旧講義棟)の2階、その一番奥にひっそりとこのスペースはある。リクライニングも可能なマッサージチェア2台にCDが視聴可能なリクライニングシート、体重計に血圧計がここにはある。誰もいない時間にひっそりとマッサージチェアに身を委ねれば、独りで静かで豊かで ... .. なんとというか救われた気分になることができる。なお、これらの機材は図書館情報大学が筑波大学と統合し、春日キャンパスと名を変える以前からここに置かれており、結構な年数を経た物である。昨今の国立大学法人の懐事情を考えるに、壊れたとしても修理は難しそうだ。大切に使いしていきたい。

以上、春日キャンパスに存在するよく知られた癒しの場を2つ紹介した。次回のこのコラムでは、今回紹介した癒しとも関係の深い食事について紹介する予定である。次回「春日キャンパス食事情」、お楽しみに。

(情報学群知識情報・図書館学類3年 伊藤 洸紀)

## 4 ツクバネコスナップ



大学生になり一人暮らしを始めた当初、時計の針の音しか聞こえないひとりぼっちの夜をなんとなく寂しく感じた経験がみなさんにもあるのではないのでしょうか。そんな夜はつい誰かの声が恋しくなって、用もないのに真夜中の明るいコンビニにふらりと立ち寄ってしまうものです。しかし、寂しさを紛らわすために光に集まるのは果たして私たちだけなのでしょう。もしかしたらそこにはツクバネコの姿もあるのかもしれません。

### 【第二回】コンビニネコ

天久保三丁目、陸上競技場そばの交差点の角にあるローソン。今回紹介するツクバネコとの出会いはその店先にありました。それは蒸し暑い七月のある夜の事です。図書館での試験勉強でへとへとになっていた私は、ふらふらとローソンに立ち寄りました。のり弁を購入し店を出ると、店ののぼりの足元に何やら奇妙な影があります。

あれは、のぼりが飛ばされないよう置かれた置石？ 過酷な試験に身も心も削られた筑波大生の成れの果て？

はたまたもっと別な何か？

いや、違う！ あれはツクバネコだ！（テンプレ）

通り過ぎるお客さんの「またいるよ」という声を聞くに、どうやらこのツクバネコ、以前からよく出没していた様子。人間に慣れているのか、私が近づいても微動だにせずどっしり構えている姿はなんだか店の看板ネコのようにです。



近づいて触ろうとすると、何やらネコが手を伸ばしてきます。積極的なネコ！ かわいい！と試験勉強の疲れも吹き飛んだところでなんだ

かネコの手の角度がおかしいことに気がきます。

のり弁 …… !

どうやらこのネコの狙いは私の購入したのり弁だったようです。左手首にぶら下げたレジ袋に驚異的な執拗さをもって伸びてくるネコの手。怖い。夕飯をとられてはたまらないのでひとまず退散することにしました。ネコも夜中はお腹がすくのか。

ぼんやりとした心細さを紛らわすために灯りにつられるままコンビニに入る夜。すこし眩しいくらいの店内で過ぎていく時間は、外の世界の何倍も長く感じます。そして、よくわからない雑誌の表紙を眺めてなんとなく時間をつぶしていると、心細さよりただお腹がすいていただけということに気付くのです。すこし寂しいけれどありふれた、そんな大学生生活の夜のことを思い出したツクバネコとの出会いでした。

(情報学群知識情報・図書館学類2年 大嶋 航平)

## 5 『まつれつくば』



秋も近づく8月下旬(執筆現在)、みなさま如何お過ごしでしょうか。

秋の到来とともに、夏も終わりを迎えようとしております。今年の夏も、目いっぱい味わうことはできたでしょうか。

夏といえば。そう、青い海、緑の山。そして、お祭り！ つくばでは、締めくくりとばかりに、まち全体が『まつりつくば』に向けて盛り上がりしております。

ですが。

つくば在住3年を迎えるわたくし、じつはこの一大イベントに参加したことがありません。そして今年こそはと、楽しみにしていたものの …… やはり夢と潰えそうです。ぐすん。

ですが！ つくばのお祭りは、『まつりつくば』のみならず！！

実は、由緒あるお祭りも、地域各所で行なわれているのです。そこで先日、私は「つくば市小田地区」で催行された、『小田祇園』へと、足を運びました



7月中旬は、祇園祭のシーズンです。

地域によって多少ばらつきはあるのですが、今年は20日に行なわれることが多かったようです。

『小田祇園』もそのひとつ。

「小田地区」とは、「筑波山麓」、あるいは「旧筑波」と

呼ばれる地域に在り、研究学園都市と称される、大学やつくばセンター周辺とは趣を異にした風情を持っています。



とはいうものの、意外と場所は近くって、一の矢宿舎から大学を出たところにある、『一の矢八坂神社』の前をぐーっと進むと、自転車であれば20分程度で到着します。

古い商店街や古民家などの紹介もしたいところですが、ここはちよいと置いておいて。

『小田祇園』のみどころ、それはずばり、『獅子』と『御輿』です。なにがすごかって、この御輿、立つの。立つのです。クララばりに。

祭事のなかで、獅子と御輿が戦う場面があるのですが、そのときの担ぎ手の勢いがすごったら。

獅子を担ぐ勢は、

「もっと高く！うおおおおお！！！」と獅子を持ち上げ(バランスの関係で、高く上げれば上げるほど、そのまま保つのは難しい)。

いっぽう、御輿を担ぐ勢は、

「どりゃああああああ！！！！！」と、御輿を立たせる(?)。

むかしは今よりももっと、血気盛んなお祭りで、ヒートアップした末に、このような形へと発展したようです。



なお、獅子のタテガミ(?)のもさもさは、川から採れた『藻』だそうです。持っているの良いコトあるとか。

商店街に臨時出社しているお社で、お賽銭をあげると、お払いとともに、一部いただくことができます。

獅子の通り道にも落ちているけれども。

ちなみに小田地区、秋には『筑波山麓秋祭り ([http://www.ttca.jp/?page\\_id=654](http://www.ttca.jp/?page_id=654))』にて、また一層の盛り上がりを見ることができます。

期間は10月26日～11月4日。

つくばへいらした際には、是非。

## 6 大気像



今夏、内定先のインターンシップの仕事を手伝った。受付係、参加者の誘導、質疑応答など、多くの大学3年生と接する中で感じたことは、「あいさつをする学生が少なすぎる」ことだ。

会場で私が「おはようございます」と言っても、あいさつを返す学生は半数弱。歩きながらの会釈はまだ良いほうで、「朝からうるさいな」と言いたげな目でにらまれることも、イヤフォンをはめたまま素通りされることもあった。

「あいさつするたび、ともだちふえるね」。公共広告機構のCM、「あいさつの魔法」のフレーズを思い出す。東日本大震災発生直後に何度も放送されたというのに、あいさつが全く浸透していない現実が悲しい。友達はほとんど増えなかった。

そもそもあいさつは略された言葉だ。「おはよう」は「お早くからご苦労さまです」が、「こんにちは」は「今日はよいお天気ですね」、「こんばんは」は「今晚はいかがですか」が略されたものだ。大切なのは内容よりも相手を気遣う感情。言葉を略しても、相手への気持ちは略してはいけない。

インターンシップの参加者には、笑顔であいさつを返してくれる学生もいた。気持ち良いし、「いい学生だな」と自然と思える。たった数文字で幸せになれる魔法のことを、今一度思い出してほしい。

(社会・国際学群社会学類4年 原 啓一郎)

### 編集後記

2学期制となった筑波大学では、10月から新しい学期が始まります。

実家からつくばに戻ってきて、のんびりとつくばライフを楽しんでいたらもうこんな時期になってしまいました。とりあえず、来月の卒論中間発表の準備をしなくちゃ。いや、その前に授業組むんだった！

そういや近々内定式なんてものもあったなあ。...私生活は慌ただしくとも、ペデジャーなるはゆるりとお届けいたします。次号もお楽しみに！ (編集長: 人文・文化学群日本語・日本文化学類4年 河原 一愛)

🍷おしらせ

＜第 17 回ホームカミングデーを開催します＞

本学では、来る 11 月 2 日(日)に第 17 回ホームカミングデーを開催します。

今年度の対象は学群(旧図情大を含む)に平成 2 年度に入学された方及び大学院に平成 6 年度に入学された方です。

参加登録方法などの詳細については下記をご確認ください。(担当:筑波大学連携・渉外室)

本学公式サイト <http://www.tsukuba.ac.jp/event/e201406171130.html>

＜「ペデぶろぐ」について＞

ペデジャーなるのブログを開設しています。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしくお願ひします。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

🍷筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🍷筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

🍷筑波大学校友会 SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学校友会 SNS／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

🍷編集・発行:「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🍷デザイン・配信作業:国立大学法人筑波大学連携・渉外室

🍷ご意見・問い合わせ先:国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日 1-8-3 筑波大学春日プラザ 1 階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

🍷配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.